

さめがわ村

No
143

平成28年2月

みんなの議会だよ!

題字：青生野小学校
5年1組 岡部 陽斗さん

力をあわせて
お餅つき!!

12月定例会

初の議会モニター導入 ...12

新年の議長あいさつ 2

12月定例議会 3

6人が登壇

ズバリ!!村政を問う!(一般質問) 4~10

追跡! どうなったっぺ?

あの一般質問11

村民の広場13

ふるさと鮫川への想い14

活気に満ちた議会を目指して

村議会議長 星 一彌



あけましておめでとうございます。

輝かしい平成28年の新春を迎え、鮫川村議会を代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

村民の皆様には、常日頃から村議会に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私たち議員10人が村民の皆様の信託を受け、村政の発展に取り組み始めてから一年が経過しようとしております。

しかしながら、村を取り巻く昨年の社会・経済環境は、ギリシャの財政破綻に始まり、中国経済の減速や国際テロの余波による欧州景気が懸念される状況にあります。

国内においては、T P P 締結、安全保障、消費税増税の影響を憂慮し、安心への道が遠く感じられる一年でもあり

ました。

鮫川村においては、東日本大震災からまもなく5年が経過しようとしても未だ残る風評被害、少子高齢化、基幹産業である農業の振興、村政の活性化には大きな課題が山積しております。

村は林業経営対策として、財源に有利なふくしま森林再生事業を導入し、森林における針葉樹の間伐と広葉樹の更新伐にて森林整備を図るとともに、表土流出防止柵の設置等による放射性物質対策を実施し、しいたけ原木として活用できる森林再生を進めています。

環境省による仮設焼却炉の実証実験は、村議員、行政区長、公募による監視委員会を設置し、焼却の安全性、環境への影響についての監視活動を実施して参りました。実証実験は平成27年7月に終了し、汚染物の減容化が図られたところであります。

議会では、「活力ある村づくり」を実践するうえで、どう行動するべきかを協議して参りました。その中で議員自らが皆様と共に行動し汗を流

し、村民の皆様信頼される環境づくりを目指すべきとの結論にいたりました。

また、新たに議会モニターを公募し、モニターから広く聴取した議会に関する要望、提言、意見等を議会運営に反映することにより、議会の活性化を一層推進して行くと共に、適切な時期を検討し、議会報告会を実施する計画で進めております。

さらに2月には、本村では3回目となる「子ども模擬議会」を村、村教育委員会、小学校の協賛で開催します。

子ども模擬議会では、鮫川小学校6年生と青生野小学校の5・6年生が議会のあり方を総合的に学習し、村政への関心を高めていただきたいと思います。

今後とも、村当局と互いに協力しあい、村政進展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところです。

鮫川村議会に対して格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

農地等災害復旧工事など

12月定例会 一般会計

9399万円の補正予算を可決



大 樂 勝 弘 村 長

12月定例会は、12月8日から10日までの3日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算のほか、条例など10案件が審議された。

提出された全ての議案を原案のとおり可決した。また一般質問では、6人の議員が登壇し、村政全般について質した。

主な歳入補正

- 地方消費税交付金 790万円1千円追加
- 地方交付税 5612万5千円追加
- 国庫支出金 239万8千円追加
- ・ 保険基金安定負担金

主な歳出補正

- 公共土木施設災害復旧事業費 320万1千円追加
- 県支出金 東日本大震災農業生産対策交付金 578万7千円追加
- ・ 農地等災害復旧事業費 629万9千円追加
- 寄附金 ふるさとづくり寄附金 121万円追加
- ・ 地域振興費寄附金 100万円追加
- 繰入金 公有施設整備基金繰入金 460万円追加
- 村債 公共土木施設災害復旧事業費 150万円追加
- 総務費 減債基金積立金 2000万円追加
- ・ 公有施設整備基金積立金 3000万円追加

会 計 別	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	9398万8千円増	33億9438万1千円
特 別 会 計	国 事業勘定	445万1千円増
	保 直診勘定	0
	簡 易 水 道	2730万7千円減
	集 落 排 水	65万1千円増
	介 護 保 険	10万円増
	後期高齢者医療	25万3千円減
合 計	7163万円増	48億8032万2千円

補正が行われた7会計。国保直診勘定の総額は変わらず内容が変更された。

条例の制定・一部改正を可決

- 農林水産業費 東日本大震災農業生産対策費 578万7千円追加
- ・ 機構農地集積協力金 191万円追加
- 土木費 住宅整備等工事 33万6千円追加
- 教育費 自動火災報知機改修工事 99万2千円追加
- ・ 公民館屋内消防設備設置工事 381万4千円追加
- 災害復旧費 公共土木施設災害復旧工事 485万円追加
- ・ 農地等災害復旧工事 780万円追加

▼ 鮫川村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項及び同法第19条第9項の規定に基づき、特定個人情報情報の取扱いが安全かつ適正に行われるよう所要の事項を定めるもの。

▼ 鮫川村村営バス条例の一部を改正する条例
精神薄弱者福祉法、障害者基本法等において用いられている「精神薄弱」という用語を「知的障害」という用語に改めることにした「精神薄弱の用語の整理のための関係法律の一部を改正する法律」に基づく用語の整理を行うもの。

▼ 鮫川村税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部が改正され、税の徴収猶予に係る村の徴収金の分割納付又は分割納入について定める規定、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」制定に伴う改正の他、たばこ税特例税率の改正に伴う所要の改正等を行うもの。

める規定、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」制定に伴う改正の他、たばこ税特例税率の改正に伴う所要の改正等を行うもの。

その他

▼ 鮫川村過疎地域自立促進計画の変更について
過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定により、本計画の変更について議会の議決を求めるもの。

調査内容

- 総務管理費修繕料
- 社会教育費工事請負費
- 公民館屋内消防設備設置工事
- 中学校費消耗品費内訳

総務文教常任委員会



議会開会中に各常任委員会は、議案の内容について調査を行い、詳細について各課長などから聞き取り検討調査した。

議案調査

産業厚生常任委員会



調査内容

- 居宅介護サービス給付費
- 鮫川村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
- 東日本大震災農業生産対策費
- 機構農地集積協力金
- 公共土木施設及び農地等災害復旧工事

6人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



北條 利雄 議員

- ① 介護保険法改正に伴う支援事業の計画
- ② 介護予防・日常生活支援事業の整備
- ③ 地方創生総合戦略



関根 政雄 議員

- ① 青生野小の統合問題
- ② 条件付一般競争入札の見直し
- ③ 放射能検査の農産物の価格を賠償請求



宗田 雅之 議員

- ① 若年女性の定住策
- ② 修明高鮫川校の存続



遠藤 貴人 議員

- ① 地域における行政職員の人材教育



京條 英征 議員

- ① 生菓の郷をめざすべき
- ② 人にやさしい施設的环境整備



前田 武久 議員

- ① 冬期の氷結における危険村道の改良

各議員のにお絵は
鮫川小6年生の皆さんの
作品です。

議会だよりに掲載する一般質問は「質問をした各議員の責務」において要約し、広報編集委員会にて校正を経て掲載をしています。また各議員の再質問や執行者(村長、教育長)の答弁の全ては、議会会議録に掲載されていますので、議会事務局(役場2階)、公民館(1階ロビー)、図書館にてどなたでも閲覧することができます。





北條 利雄 議員

問

人口予測の将来展望を伺う

答

消滅可能自治体の定義に該当しない

質問

創生総合戦略の策定は、人口の現状分析と将来展望を示す人口ビジョンがポイント。人口予測の根拠、設定された目標人口を伺う。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は「しごと」と「ひと」の好環境づくりと「まち」の活性化である。政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策を伺う。

答弁(村長)

国立社会保障・人口問題研究所の人口予測の推計値は、2040年時点で2,460人と見込まれ、日本創生会議の消滅可能のある自治体の定義に該当しない。総合戦略は、①重点8項目「まち・ひと・しごと」の分野ごとに目標を定め、5年間の計画期間で取り組む。施策の選定過程は、各種団体アンケート、グループインタビュー、村民と職員による策定委員会での検討など②暮らし

の環境、産業と雇用創出、人材育成、転入交流人口など③達成状況を消化する有識者会議の設置④白河地域定住自立圏を中心とする連携協力⑤地域消費喚起生活支援型交付金、地方創生先行型交付金の活用、地方創生加算化交付金を予定。

再質問

政策の検証もポイント。制度ごとの建前の構造や全国一律のばらまき、地域に浸透しない表面的な施策、短期的な成果を求める施策などを踏まえて策定しているか。

答弁(村長)

地方の良さ、村の良さを引き出す施策を慎重に考えている。農村景観、意欲的な生産活動、有機農業、都市との交流などを踏まえて本村に合った地方創生事業の施策を展開したい。



デイサービスを利用する皆さん

問 地域支援事業の計画見直しと計画策定の進捗状況を伺う

答 地域包括ケア会議・認知症初期集中支援チームを設置する

質問

介護予防訪問介護と介護予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業に移行する。問題点は、要支援の方の介護予防サービスが地域支援事業に移行すること。介護認定者は、保険給付を受ける権利を有しているが、保険給付から外し地域支援事業へ移行し、介護認定非該当

当者の介護予防・生活支援サービス事業を、総合事業の枠組みの中で、要支援者と合わせて実施することにある。地域支援事業の見直し計画策定の進捗状況を伺う。

答弁(村長)

今年度中に地域包括ケア会議を設置し、介護予防・生活支援サービス事業

問 総合事業のサービス供給体制整備を伺う

答 地域包括システムを構築し協議を進める

質問

総合事業は、専門的なサービスの線引が不明確。多様な担い手が関り、一定の効果が立証されている。家族や地域の自治組織の変化を背景に、介護の社会化として介護保険制度はスタートした。地域のボランティアや住民相互の協力が制度として機能するのか、実施体制の整備の問題もある。

る。地域で高齢者を守る仕組みやボランティアなど、高齢者が住み慣れた場所ですらざる仕組むは必要である。保険給付の継続、地域力の向上、高齢者の在宅生活を重層的にサポートする仕組むが目指すべき方向性である。事業のサービス供給体制整備を伺う。①ガイドラインの作成、評価、財源②在宅医療・介護の連携

や一般介護予防事業の検討を進め、事業を移行したい。認知症施策の推進では、郡内町村が連携し認知症初期集中支援チームを設置し協議する。

再質問

ケア会議は、現場の専門職の声、幅広い人選、利用者や地域の声を生かす必要がある。

答弁(村長)

住み慣れた地域での老後の安心な暮らし、地域で支え合う仕組みを構築する。

推進の事業体③ボランティア等の生活支援の担い手の育成・発掘等の地域資源の開発・配置④地域包括支援センターの評価と機能強化⑤社協の地域支援事業に移行する影響対策

答弁(村長)

総合事業の具体的な検討には至っていない。村民のニーズの把握に努め、地域に合った介護予防・生活支援を包括的に提供する地域包括システムを構築する協議を進める。



問

若年女性の定住策を伺う

答

移住・定住環境を長期的、継続的に整備していく

質問

人口減少社会の中で、生き残りを目指して村として何をなすべきなのか。その大きな要因である若年女性の減少、出生率の低下に伴う少子化対策は重要であり、村としても施策を講じているところであるが、人口減少に歯止めが利かないのが現状である。そこで、若い女性に定住、移住をさせるための施策をどのように考えているのか、また教育向上策による村創生も一つの施策と思うが、村長、教育長の考えを伺う。

答弁(村長)

人それぞれに人生、生き方があり、一人ひとりの思いと事情により移住、定住するわけで、自治体の方針や子育て支援策などで、意思を決定するわけではないという前提に立った上で、要望、意見を取り入れ、可能な限り移住、定住環境を整備していくことが重要であると考えている。現在、若い女性の定住、移住に寄与する施策についても十



定住化のための環境整備

答弁(教育長)

月に設置した、村民と職員による総合戦略策定委員会において検討を重ねているところである。人口減少は女性だけの問題ではなく、男性を取りまく社会全体の問題であり、こうした社会の問題や課題に直面したとき、原因を探り、知恵を出し合い対策を講じていくことが常道だろうと思う。

再質問

人、それぞれに考えがあるのはわかるが、将来にわたり、村を存続させるには、子供を産み育てる女性がいなければ、村は存続できない。そのため、村に住んで頂ける、村の魅力、雇用の場づくりが大事と思うが、考えを伺う。また教育の向上策について教育長に伺う。

答弁(村長)

今の時代、会社を誘致することは困難である。そのためにも、平場に通う道路の整備などの環境整備などが肝心である。また子供の教育の充実、教育力のアップ、一人ひとりの気力を向上させるなどの対策をとり、定住を図りたい。

答弁(教育長)

学力は家庭あるいは教育力により高まっていくのだと思う。現在、子供たちは、正しい家庭、子育てに必要な家庭について短い時間ではあるが学習している。そういったものを、村全体として広げていきたいと考える。

問 修明鮫川校の存続策は

特徴のある高校づくりを目指して支援していく

また、少し焦点を小さい子供たちに絞った教育、子育てのあり方というところにこれから力を入れていく。そして、村民

のご理解をいただき、積極的に子育てにかかわっていただけるような環境づくりをしたいと考える。

質問

年々子供の数が減少する中で、今年度の修明鮫川校への本村からの入学者がなく、今後の存続が危惧される。子供たちの存在は村に活気をもたらす、村存続のためにも大変重要である。そのためにも、早急な検討、対策案を講じるべきではないか。

再質問

全寮制の学校だとか、特色のある、専門的な学課の検討も必要では。

答弁(村長)

修明鮫川校の存在は、村活性化の観点からも、大きな意義がある。現在村内からの生徒に、通学費の経済的支援をしているが、村外から鮫川校に通う生徒たちにも、同じく支援があれば、生徒の確保に弾みがつくのではと考える。過日、分校長

答弁(村長)

子供たちの夢を叶える特徴ある高校であれば、また違った募集ができるのではないかとと思う。これらの対策はなかなか容易ではないが、お話をしながら、特徴のある高校づくりを目指して、支援していく。



京條 英征 議員

問

鮫川、目指せ「生薬の郷」づくり

答

気候風土に合った生薬があれば
全面的な支援は惜しまない

質問

全国的に漢方薬の原料となる薬用植物を栽培する動きが広がっている。必要量の約9割が中国からの輸入に頼っているのが現状である。

必要量の安定した確保、生薬の品質、コスト高傾向等の解決のために、龍角散、ツムラ等の漢方薬メーカーが、国内栽培の推進が必須であるとの認識に至ったからである。農業の活性化対策の一つとして二十五年

度から、国の補助事業も開始され関心が高まっている。村の耕作放棄地を活用して、荒れ果てて行くばかりの田畑一面が、生薬で一杯になったらと想像してみませんか。

行政と生産者が一体となり、意欲的に課題を解決し、鮫川村の未来を託すにふさわしい事業であると考えている。

漢方薬メーカーと協定を締結し「生薬の里」構想を掲げている自治体が多くなっている。

土壌調査、栽培指導員の派遣、試験栽培を経

て、種苗の提供、収穫生薬の全量買い上げ等が協定の内容である。

ヨーロッパ、アメリカがすでに中国産生薬をかいあさっているようで、国内への安定供給だけでなく、将来は輸出の可能性も秘めていると生薬協会では予測している。

魅力ある農業は何か、米や大豆に代わる作物は何か、この課題は避けて通れない。その課題の一つとして生薬栽培こそが鮫川村に適していると考え

る。今の時代に生きる者として、特に、行政に関わる立場にある者であるならば尚さらに、自然豊かなまま、未来の子供たちに誇れる姿のまま残して行かねばならない。

草刈りをまめに行い里山の自然景観を守るだけでなく、攻めの農業が必要であるならば、持続性と広がりが期待できる生薬栽培こそがそれに当たるのではないかと考える。米やタバコからの転作、樹皮が薬になる薬木を植える、キキョウやシャクヤク等の生薬を栽

培し観光客を呼び込む、農家民宿で薬膳料理や薬草風呂の提供等も考えられる。東京生薬協会の事務局長は、国からの交付金が1ヘクタール当たり八十万円であること、国内産を4割以上まで増やしたい事などから、充分に魅力ある作物であり続けることを強調していた。それらをふまえて村長の考えを伺う。

答弁(村長)

全国的に栽培が注目されている薬草栽培であるが、近年中国国内における重要な伸びに伴っての輸入価格の上昇や、国内においても漢方製剤の需要増の背景により、今後生薬の需要は増加する見込みであるようだ。鮫川村でも、昨年仙台で開催された薬用食物の産地化に向けた東北ブロック会議があり、生薬栽培について情報を収集している。

そこで村では、試験栽培を目指し朝鮮人参を候補作物として要望したが、すでに会津地方で栽培しており間に合っているという話である。漢方

薬は、中国大陸の気候風土に合っている作物ではないか、日本での栽培は技術が伴うのではないかと

思う。

然し、村に合った生薬があり、関心があつて手を挙げて下さる生産者や製薬メーカーがあれば鮫川村として全面的に支援し協力は惜しまないので、情報をお願いしたい。

問 人に優しい「施設の環境整備」を

答 グランドもトイレの状況も把握している

質問

グラウンドについては6月議会に続いての質問である。村民から寄せられた声で、皆に自慢できる、誇れるグラウンドにしてほしいというものであった。表土の問題なのか排水の問題なのか再度検討して頂きたい。

また、多くの行事が行われる公民館のトイレや冷暖房についてである。人に優しい施設としての環境整備は急ぐべきと考えるが教育長の考えは如何か。

答弁(教育長)

雨上がりのグラウンドの利用については、保護者、役員等からも相談があり状況は把握している。表土の入れ替えも暗渠排水も多額の工事費がかかる。

公民館のトイレ、空調設備等については、要望も有るので28年度事業として必要性を訴えながら予算の確保に向けて努力してまいりたい。



漢方薬になる
シャクヤクとキキョウ